目標達成計画

作成日: 令和 7 年 4 月 14 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	入居者状況・行事内容(写真付き)の近況報告、各種の勉強会と意見交換を内容とし、議事録を関係者・家族様に送付しているが、平日の14時～15時の開催に家族様の参加が難しい。総数(3事業所)からの家族様の参加が見えない点が課題。	・議事録の送付に併せて意見等を募る工夫 ・入居者様の状況の一つとして、ヒヤリハット、事故について原因・対応・検証の報告を加えること	・議事録と一緒に送付を行い、意見を頂く ・報告内容の中に(ヒヤリハット・事故報告)原因・対応・検証を追加する。 ・意見を頂いた物を運営に反映する。	6ヶ月
2	33	重篤化・終末期における事業所としての看取り体制	看取りを可能にできる為にまず医療連携体制の構築から利用者様の体調管理にできるかぎり長くご利用いただける環境整備。医療機関・家族様・スタッフへの理解と周知。研修等を行い整備をすすめていく。	①看取りの事業所方針を決定 ②看取りの事業所方針を周知 ③スタッフ教育…実施中 ・Eランニング【講義・実技】ターミナル研修の実施 ④理解を深める・知識を増やす ・ユニット会議の場でスタッフ一人一人が「看取りに対して心に思うこと」を聞き出し協議→理解を深める ⑤協力医療機関と看取りを実施する上での段取りを協議する	4ヶ月
3	49	外出機会を増やす	イベントを含めて、1ヶ月に外出機会を増やす。	公園への散歩回数を増やしたり、利用者様のストレス軽減・季節ごとのイベントで楽しんで頂き外出の機会を増やす。	4ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。